

町民懇談会（令和元年度11月）

- 開催日時：令和元年11月12日（火）午前10時
- 開催場所：矢巾町公民館2階3・4研修室
- 参加人数：28名（ゲストスピーカー、傍聴者、事務局を含む）

ゲストスピーカー

さ とう とも こ さん
佐 藤 智 子

すな かわ じゅん こ さん
砂 川 順 子

たか はし さぶ ろう さん
高 橋 三 郎

てる い せい いち さん
照 井 誠 一

ぬま た ち え こ さん
沼 田 知 恵 子

ぬま た み え こ さん
沼 田 美 恵 子

【町長あいさつ】

今回の懇談テーマは、「豊かな生活環境を守るまちづくり」ということで、わかりやすくいえば環境問題についてである。その他、町政について意見交換させていただく。

【自己紹介】

6人が自己紹介

【意見交換（各自の発言要旨）】

佐藤さん：

- 資源回収の件について。分別がされていない。
- 回覧板等で注意や指導をしているがなかなか徹底されないで、ごみ収集車が来るまでに分別をしなければならないという現状である。
- 先ほど町長は町内にごみステーションをつくるという話があったが、自分たちの地区は高齢化が進んでおり、ごみステーションまでごみを持っていくというのがなかなか大変なこともあると思うので、そのような場合に町で回収するといった考えはあるか。

町長：

- 資源回収の分別の仕方について、町としても徹底していかなければならない。
- やはラヂ！で「ごみのコーナー」を設けて、ごみ分別等について周知していきたい。
- ごみカレンダーやチラシも配布している。できれば職員がごみ集積所に立ち会って分別等のPRができれば良いが、町内のごみ集積所は約300か所あり、1年くらいかかる計算となり時間がかかる。このことから、ごみ収集してくれる皆さんと連携して、短期間で分別の仕方等の徹底をしていければと考えている。
- これからは資源化物をどのように回収していくかということが課題である。
- 紙おむつの回収が出来ないか、現在ユニ・チャームという会社と協議をしているところである。
- 資源回収の分別がなされていないということについて、地域の皆様にいかに協力してもらえるか、町として考えていかなければならないのでご理解をいただきたい。

砂川さん：

- ごみの分別などについて、自分たちの地域では広報紙をつくって各世帯に配布している。例えば、油が入っているプラスチックのビンなどはプラスチックであってもごみとして取扱うとか、詳細に記載している。
- 分別について、わかっているようでもわかっていない方が多いのではないかと考えている。
- 地区のごみ減量推進員の引き継ぎを受けるときに、以前の担当者からは自治会対抗資源回収コンクールは、ごみ集積所にたくさんのごみを出さない自治会が優勝しているの、ごみを減らすように働きかけてほしいと話をいただいた。
- 実際には、廃品回収やリサイクルショップなどに出したごみの量がコンクールの基礎になっていたということが引き継ぎを受けて1年してからわかった。
- 自治会対抗資源回収コンクールのことについては、ごみ減量推進員になってわかったことなので、おそらく地域の人たちには浸透していないのではないと思う。
- 地域の人たちは、ごみの問題についてはたいへんな問題だとはわかっているが、多くのものを買って多くのものを捨てるという状態はあまり変わっていないのではないと思う。
- ごみの分別などについても、わかってルールを守っている人とそうでない人との差があり、東徳田1区の町営矢巾住宅のごみ集積所の分別の仕方はモラルが低く、ルール違反のごみがよく出ている。
- ごみ減量推進員1年目は、町営矢巾住宅のごみ集積所にてんこ盛りになったごみをごみ減量推進員のジャンパーを着て正しく分別し直すことを繰り返し行った。今年になってからは、ある程度分別されていた。
- 誰かが意識を改革してごみ集積所に出されているごみを分別してくれているのか、もしくは分別しないでごみを出していた人が反省してルールを守って分別しているのかわからないが、昨年実行したことの効果があったと思っている。
- 医大が移転してからかどうかわからないが、地域以外のごみが捨てられていることが見受けられるようになった。最近では2回ほど医療用と思われるごみが捨てられて

いた。具体的には、注射器に使う薬品みたいな中身の入ったケースがたくさん透明なビニール袋に入れられ捨てられていたものである。

町長：

- 自治会対抗資源回収コンクールについては、ごみ減量推進員だけではなく広く町民にコンクール開催趣旨の周知徹底を図っていきたい。
- なぜ、皆さんにごみの減量化や資源回収を行っていただきたいかというと、盛岡・紫波地区環境施設組合への負担金はごみの量によって決まっているため、資源化をすれば盛岡・紫波地区環境施設組合への負担金を減らすことができる。このことをもっと町民の皆さんに説明をしていかなければならない。
- ごみを出すルールとマナーについて、ごみを出す方にも責任はあるが矢巾町版のごみ・リサイクル辞典やハンドブックを作成し、ごみだけではなく資源の仕分け方についても載せて周知を図っていきたいと考えている。
- この間、廃プラを仕分けしていた際、注射器が混入されており誤って刺してしまったということがあった。仕分けしている人たちは感染予防のために予防注射している。
- ごみがどこの集積所から運ばれてきたかわかるので、そこの集積所には集中的に指導するように話した。
- やはラヂ！や広報などで、このようなものは集積所には出さないように周知するなどしていかなければならない。

高橋さん：

- 区域外の人たちが集積所にごみを捨てているような感じがする。
- 1週間に1回、管轄するごみ集積所を見回りしているが、中身が入ったビン詰めが捨てられていた。
- 資源回収についてだが、公民館の前にコンテナを置いて、24時間段ボール、雑誌、空き缶等を捨てられるようにしている。
- 今回の自治会対抗資源回収コンクールでは2位であった。もう少し頑張れば1位になれるところだった。
- 町指定の黄色と緑のごみ袋は、燃やしても有害にならないものなのか。

住民課：

- 黄色と緑のごみ袋については、燃やしても有害にならないように業者に頼んで作ってもらっている。

町長：

- 本日、会場にお越しの皆さんにお願いなのは、そのような車を見かけたらナンバーを控えて、環境係に連絡してほしい。
- 公民館の前にコンテナを置いて、いつでも資源回収できるということは良いことであり、モデルケースとして町内にも広げていきたい。

照井さん：

- リサイクル業を行っており、家電製品を修理して岩手県中古品協会のオークションに出品している。
- 週1回、盛岡・紫波地区環境施設組合に行って、再生できそうなものを選んでいく。
- 盛岡・紫波地区環境施設組合の現場では4、5人で大型ごみを選別しているが、ひどい時は生ごみも混ざってくることもある。
- ごみの分別が徹底されないと、現場で作業している人たちの手間がかかっており大変な仕事だと感じている。
- ごみを出す段階で、もう少し細かく分別してもらった方が、現場で作業する人たちにとっても効率が良いのではないかと思う。
- 電化製品のリサイクルは売値が安くなっており、修理したからといってすべてが売れるわけではない。ある程度、年式が新しいものや通常買えば値段が高いものしか売れなくなってきた。

町長：

- 先般、東京出張した際に品川区のリサイクルステーションに行ってきた。その時に感心したことは、ごみ集積所に出さないでも指定されたところに持っていけば引き取ってもらえるということであった。
- 矢巾町でも、1か所リサイクルステーションを設けてそこにリサイクルできるものを持ってきてもらうということも考えては良いのではないか。
- 電化製品を買えないという生活困窮者もいると思う。そのような人たちのためにリサイクルバンクを設けることも大切なことではないかと思った。

沼田（知）さん：

- 10年以上前、主人が自治会の役員をしていた時に、ごみ集積所を新しく作るようになった。その時は、ごみ集積所だとわからないように建てた方が良く、ごみ集積所の中は見えない方が良くということで作ったが、今思えば、ごみ集積所の中は見えなくても良いが、ごみ集積所は綺麗なところだというイメージがほしいような気がしている。
- そのために、ごみ集積所の色を統一するとか町で協力しているというイメージがほしい。
- 地域外の人たちが、ごみ集積所にごみを捨てていくのは、暗い場所に設置しているからであると思うので、街灯をつけるとかして明るいイメージにしてほしい。

町長：

- ごみ集積所の設置場所や景観などを考えることは大切なことであるし、地域コミュニティの活性化にもつながる。
- 例えば、県立産業技術短期大学のデザイン科に協力いただくなどして、今後建て替えるところや新設するところは統一した色にするとか明るいイメージのものにデザインしていければと思ったので、前向きに内部で検討させていただきたい。

沼田（美）さん：

- ごみ集積所に3ケタのダイヤル式の鍵をつけた。使用する人が3ケタの数字を忘れないようにわかりやすい番号にしたが、わかりやすい番号のため地域外の人にも簡単にわかってしまい、ごみを捨てられている状態であるので困っている。
- この間は、集積所に遺影が捨てられてあり、びっくりした。
- 先ほど、砂川さんの話の中で、自分で注射を打った後の針がビニール袋に入って集積所に捨てられていたということであったが、使用後の針は病院に持っていくように指導されているはずなので、ごみ集積所に捨てている人はそのことを知らないと思われる。
- 対象者を見つけて注意してあげないと、また捨てる可能性がある。

町長：

- 区域外のごみ集積所にごみを出せば、不法投棄になると思う。
- 区域外にごみを出すと不法投棄になり、廃棄物処理法により罰金いくらになるというチラシの配布を試みたい。
- 使用済みの注射針等については、紫波郡医師会を通して病院、診療所、薬局でも引き取りできるか確認する。

自由意見

沼田（美）さん：

- デマンドタクシーについて、使用したい場合、どこにどのように頼めばよいかわからない。町でデマンドタクシーをはじめたということは聞いていたが、そのようにやっているのか詳しく教えてほしい。

町長：

- デマンドタクシーとは、乗り合いタクシーのことである。
- 老人クラブや障がい者の集まりがあるときに、イラストなどを用意して説明しなければならないと思っている。

企画財政課：

- デマンドについては、今年3月からはじまっているが、なかなか普及していない。これは、別の手段で移動していることが多いと考えている。
- デマンドについては、やはラヂ！で広報したり、老人クラブの会合や各々の地区でお話しさせていただいているが、人がなかなか集まっただけで、多くても10数名といったところであるが、説明する機会はどんどんつくっていきたいと考えている。
- デマンドについて、役場に直接電話をいただくことも増えてきた。
- 動画でつくってみようと考えている。
- 今後、見直しも行って使いやすいものにしていきたい。

沼田（知）さん：

- 市街化区域がどんどん増えてきて、百姓をするのに働きにくい環境が増えてきている気がする。
- 矢巾町は、農業も主流の町なので、できれば市街化区域と市街化調整区域の線引きして、農業を主流にしている地域に市街化区域を広げてほしくない。
- 矢巾中学校が新しくなったことにより通学路が変わった。部活で遅くなると、暗い道路を帰っているのが見受けられるので、通学路を見直し、かつ街灯をつけていただければと思う。
- 街灯をつけるには、自治会の要望と負担が必要と聞いているが、町の事情で矢巾中学校が移転したので、町の負担で設置をお願いしたい。

町長：

- 矢巾町では、市街化区域と市街化調整区域の線引きは厳しくやっている。
- 矢巾町は医大が来たことにより人口増加することがわかっているので、現在、市街化区域の拡大をお願いしているところである。
- 市街化調整区域の区域の在り方について検討していかなければならないということで閣議決され、今度法案として出される。市街化調整区域と市街化区域の線引きが変わるようであれば、広報等でお示ししたい。
- 市街化区域の周辺部がさびれて空き家も増えている。空き家も年数が経てばリフォームにお金がかかる。行政が中心となってマッチングしていく。
- 農業が衰退すると地域も衰退していくので、対策として地域コミュニティの活性化を図っていきたい。
- 街灯設置については、様々な地域でお話をいただいている。スクールバス運行も含めて検討していきたい。

照井さん：

- 矢巾町は、横断歩道に人が立っていても停止しない車が多い。
- 優先道路なのに、枝道から出てきた車に道を譲っている車があるが、親切なようであっても危険であるし事故の原因にもなる。
- 矢巾温泉付近でコンビニの袋ごとごみが捨てられている。ぬさかけの滝、屋外ゲートボール場の向かいの駐車場、煙山ダムに隣接する駐車スペースにごみ箱を設置したらどうか。

町長：

- 横断歩道で一時停止をしないのは全国的な問題である。
- 県警では、不来方高校付近の横断歩道の一時停止の取り締まりを頻繁に行っている。
- 以前、流通センターの周辺で大型トラックが止まれるところでごみが捨てられていたが、警察にパトロールをお願いしたり不法投棄禁止の立て看板を設置したらごみが減った。同様の方法で、矢巾温泉周辺についても取り組んでいきたい。

高橋さん：

- 消防学校が移転する話があったが、どのようになっているか。
- 道の駅ができるという話があったが、どのようになっているか。
- 矢巾スマートインターチェンジ付近の県道不動盛岡線をまたいで東と西に工業団地のようなものができるという話があったが、どのようになっているか。

町長：

- 久慈市が中心となって久慈広域が道の駅を行う。矢巾町も道の駅構想は盛岡広域と一緒にできずという視点で考えていきたい。
- 道の駅は、防災としての役割と医大附属病院が矢巾町に出来たことにより、いろいろなところからの来訪者も増加することから、県内33市町村の特産品を取り扱うようなブースも設けていきたい。

砂川さん：

- 知人の高校生の女子生徒が矢幅駅から東に向かって歩いていると、ねむの木公園の暗がりから男の人が声をかけてきて怖かったとのこと。ねむの木公園は暗いので、防犯のためにも街灯をつけるなどして明るくしてほしい。
- 矢巾町の顔である矢幅駅。ロータリーになったこともあると思うが、矢幅駅に用事がある人しか行けなくなっている。どちらかというと、誰でも入りやすく誰からも見えにくい危険な場所になっているのではないかと思う。駅周辺について、飲食店など誰でも利用しやすいような場所が出来れば良いと思う。
- 医大の西側を流れる岩崎川があるが、春になると土手の草刈がある。草刈機械を所有している人たちは高齢になっていて、毎年、草刈の活動について何とかした方が良いのではないかという声がある。
- 草に負けない花があれば、種を撒くことにより草が生えないので、草刈をしなくても景観が保たれるのではないか。コキアで有名な茨城県ひたちなか市の国営ひたち海浜公園などは見栄えが良い。

町長：

- 万が一、犯罪が起きてもたいへんなので、ねむの木公園の街灯の設置については、すぐ検討させていただく。
- 矢幅駅前の賑わいについて、現在は屋台村などあるが、今後、矢幅駅前の土地所有者や町商工会とも相談していきたい。併せてインフォメーションコーナーの充実など、矢巾町においでになった方が気持ちよく用が足せるようにするための方策について、すぐ対応させていただく。
- 駅前と駅西にある「矢幅駅」の表示を大きくすることについて、JRに対応していただいた。
- 岩崎川は県管理の河川である。今度、草刈と木の伐採は行う。
- できれば、来年度は岩崎川に鮭の稚魚の放流、花壇づくり、こいのぼりを吊るしたいと考えている。

○矢巾停車場線から岩崎川を見て、良い風景だなと言われるようにしていきたい。

佐藤さん：

○特に冬場、電車の到着時刻が遅くなったときに、暖をとれるような場所の提供をお願いしたい。

○矢巾町初のオリンピック選手の水本圭治選手であるが、来年のオリンピックのカヌー競技の際に、田園ホールなどでパブリックビューイングの開催を考えているか。

町長：

○水本圭治選手について、今月29日に応援団の設立総会を行う。現地で応援できるチケットは60人分確保している。

○矢巾町からバスで会場まで行きたいが、現地で交通規制がかかるため電車での移動である。

○パブリックビューイングについては、NHKや民間で放送するのであれば、ぜひ田園ホールで開催したい。レースを放映するかは1月に決まるようである。

所感：

本日は、貴重なご意見やご提言をいただきました。今年12月までの町民懇談会が終了したら、これまでの町民懇談会でご意見ご提言をいただいた件がどのようなになっているかについて、2月頃の広報、やはラヂ！でお知らせしていきたいと考えている。

(午前11時43分)